

■大阪自然史フェスティバル関連イベント■

●自然史フェス2014 記念シンポジウム

「森に生きる不思議なサギ ミゾゴイ ～その暮らしを知り、保護を考える～」

日本野鳥の会大阪支部のシンポジウムです。2013年10月に大阪の都心、新梅田シティの人工庭園に「幻の鳥」とまで言われ観察が困難なミゾゴイの幼鳥が飛来。そこで、ミゾゴイのくらしや保護について考える機会を持ちたいと思います。東京の多摩西部地域で長年ミゾゴイの調査研究をされ、ミゾゴイが昼行性の鳥であることなど多くの新しい生態を明らかにされた川名国男氏にミゾゴイの生態と習性についてお話いただきます。また、新梅田シティに滞在したミゾゴイの採餌行動を中心とした生態について報告し、滅びゆくミゾゴイの現状や保護の課題などについて、ディスカッションを行います。

日時：11月15日(土)午後1時～3時30分

場所：自然史博物館 講堂

参加費：無料

お問合せ：植物研究室の佐久間

お申込：不要

プログラム：

・基調講演「ミゾゴイの魅力～分かってきた生態と習性～」川名国男 氏 (ミゾゴイ研究会代表)

・報告「新梅田シティのミゾゴイを密着追跡した3日間～採餌行動を中心に～」納家 仁 氏 (日本野鳥の会大阪支部)

・パネルディスカッション「ミゾゴイを守るために 現状と課題」

パネリスト：川名国男 氏、納家 仁 氏、橋本正弘 氏 (大阪府鳥獣専門員)

●自然史フェス2014 講演会

「大震災が東北太平洋沿岸域に及ぼした影響とその後のベントスの回復状況」

東北沿岸の干潟は、2011年の東日本大震災に伴う津波で激しく攪乱されました。干潟地形や底生生物(ベントス)の回復傾向、そして堤防や護岸壁といった復興工事による干潟の生物への影響について、現地でモニタリング調査を続ける東北大学大学院の鈴木孝男氏にお話し頂きます。

日時：11月16日(日) 午前10時～12時

場所：自然史博物館 講堂

参加費：無料

お問合せ：動物研究室の石田

お申込：不要

主催：大阪湾海岸生物研究会

■11月23日は、毎年恒例の「大阪府高等学校生徒生物研究発表会」■

大阪府内の高等学校の生徒の皆さんが、日頃取り組んでいる生物に関しての研究や活動について発表します。毎年1回開催されているこの発表会は、今年で第66回を数える伝統のある行事で、自然史博物館の講堂で行なわれ、一般の方もご覧いただけます。開催日時は、11月23日(日・祝)の午前10時～16時です。ご参加の場合は、博物館の入館料が必要です。

▽▲ 編集後記 ▲▽

8月8日に開催しました「教員のための博物館の日」には、109名の参加者がありました。これまで3回実施しましたが、「教員のための博物館の日」をきっかけに、授業のリクエストや資料の貸出など、実際の活動につながる例があると、とても嬉しくなります。先生のむこうには子どもたちがいることをしっかり意識して、先生と子どもたちが楽しく学べる物館になれるように、学校と博物館の連携をすすめていきたいと思っています。(釋)



Teachers - **M**useum **通信** 2014 No.2
2014/10/30
編集・発行：大阪市立自然史博物館
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 tel 06-6697-6221 (博物館代表番号)
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/ (学校向けページやキッズページも充実しています)
e-mail: tm@mus-nh.city.osaka.jp



※送付先の変更や、メールアドレスの変更などあれば、ご連絡ください。経費削減のため、なるべく通常の通信はEメールで連絡させていただきたいと思います。登録時に郵送を希望された方でメールアドレスを取得した場合は上記までご連絡ください。

11月15日、16日は関西文化の日で入場無料！ 大阪自然史フェスティバル2014を開催します

みなさんは、関西文化の日をご存知でしょうか？ 関西にある多くの博物館・美術館等の施設の常設展入場料が無料になる日です。関西文化の日は、「関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化資源に気軽に接する機会を提供することにより、美術・学術愛好者の増大を図るとともに、関西圏域外に向けても、文化が息づく関西を広く、かつ強くアピールし、関西への集客を図る」ということが目的にされており、大阪市立自然史博物館もこの「関西文化の日」に毎年参加しています。

今年も、11月15日、16日。この日に、大阪市立自然史博物館では、大阪自然史フェスティバルというイベントを開催します。「大阪自然史フェスティバル」では、自然関連のサークル、地域の自然保護団体などが活動を紹介し、市民のみなさんに大阪の自然の現状や自然に関わる活動の楽しさを知っていただきます。前回のTM通信で参加者募集の記事を掲載しましたが、いくつかの中学校・高校・大学等も出展されます。体験講座や講演会など多数のイベントも開催しておりますので、先生ご自身の楽しみに、またクラブ活動として来ていただいても、参考になる事柄がたくさんあると思います。

関西文化の日のホームページ

http://www.kansaibunka.com/bunkanohi/では、関西文化の日の参加施設が一覧で見ることが出来ますので、入場料が無料になるこの機会に、他の博物館巡りもされるのも楽しいでしょう。



開催概要

- 名称：「大阪自然史フェスティバル2014」
- 期間：平成26年11月15日(土)、11月16日(日)
- 会場：大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23(長居公園内)
TEL:06-6697-6221 FAX:06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m
JR阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m
- 入場料：無料 ※平成26年11月15日(土)・11月16日(日)ともに「関西文化の日」のため、博物館本館入館料も無料となります。
- 開催時間：9時30分から16時30分(ただし両日とも入館は16時まで)
- 開催内容：
 - ◆ブース展示(両日とも開催)
本館・ネイチャーホール・ポーチなどで、出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。水槽での生き物展示もあります。
 - ◆ワークショップ(両日とも開催)
様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。そのほか、講演会などさまざまなプログラムが行われる予定です。

■ミニ展示「大山桂貝類学文庫の貝類図譜」■

博物館が収集している資料は、標本だけではなく、本などの文献も重要な資料として、収集しています。大阪市立自然史博物館は、この度、貝類学者・大山桂(1917-1995)博士の蔵書である「大山桂貝類学文庫」(書架延長約270メートル)の寄託を鳥羽水族館より受けました。

「大山桂貝類学文庫」は大山桂博士が個人で収集し、研究資料として活用した膨大な貝類学の書籍・学術雑誌で、18～19世紀の西洋で発刊された貝類図譜をはじめとして、貝類学では東アジア最大級の文庫です。博士の没後、蔵書は鳥羽水族館が保管していましたが、長期保存に、より適した環境に置くとともに、調査研究・普及教育目的での利用を促進するため、一括して当館に寄託されました。本企画展では文庫の中から、代表的かつ貴重な貝類図譜をいくつか選んで展示しています。

展示されている本の中には、石版や木版などで刷られている図版もありますが、どれも精密で美術作品のように美しく、見応えがあります。普段は収蔵庫に収蔵され、なかなか見る事のできない資料ですので、この機会に是非ご覧になってください。絵が好きな生徒さんにもご紹介いただければと思います。11月9日(日)まで、博物館本館1階のナウマンホールで展示しています。



■博物館にある「ボーリング標本」を使って、授業をしてみませんか?■

TM通信2013年2号で掲載しましたが、再度のご紹介です。大阪市立自然史博物館では、大阪市内の建設工事にもなって掘削されたボーリング標本を収集してきており、その中には大阪市立の学校のボーリング標本も数多く含まれています。現在、当館の石井学芸員(第四紀研究室)が、ボーリング標本の教材化に取り組んでおり、2013年度に引き続き、2014年度も博物館の送料負担で、ボーリング標本を貸し出す事ができます。大阪市内の学校にお勤めの先生のうち、ボーリング標本を使って授業をしてみたいという方がいらっしゃいましたら、博物館にご相談ください。貸出の時には、ボーリング標本とボーリング調査報告書だけでなく、学校の立地地域を含む地質断面図、先生がご利用になるときに参考としていただくボーリング標本や資料についての簡単な解説、博物館の展示解説書などを一緒に貸し出します。

博物館のホームページにも、詳細を説明したページ http://www.mus-nh.city.osaka.jp/edu/b_core/index.html がありますので、ご覧になってください。

大阪市立自然史博物館

貸し出しできるもの

- ボーリング標本とボーリング調査報告書
学校の工事で掘削されたもの、あるいは、産地の調査等有等の工事で掘削されたもの。
- 地質断面図(学校の立地地域を含むものを準備します)
- ボーリング標本や資料についての簡単な解説
- 大阪市立自然史博物館解説図「河内平野の生いたち」
大阪平野のおいたちについての解説、時代別の古地断面図、上町台地より東側の、河内平野の地質断面図が載っています。
- 大阪平野のおいたちに関わる自然史博物館の展示品の写真と解説

■自然史博物館にボーリング標本がある学校

(この地図やリストに載っていても、近くの市営住宅などのボーリング標本を貸し出すことができますので、ご確認ください)

■貸し出しするボーリング標本について、先方に適切なアドバイスを行うため、博物館として事前に調べが必要です。

●貸出後1ヶ月間まで、ご帰国ください。
2014年度に限り、ボーリング資料の送料を博物館で負担します。(この事業は一般財団法人 全国科学博物館振興財団による助成事業である、全国科学博物館振興助成事業の一環として行われています。)

■自然史博物館で、展示室やボーリング標本を使って、大阪平野のおいたちを題材とした研究授業をしてみませんか? 熱心のある先生は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先 大阪市立自然史博物館 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
館長室 電話: 57-5711

■ 行事案内 ■

自然史博物館では様々な行事を開催しています。申込みが不要な行事と必要な行事がありますので、行事情報をチェックしてご参加ください。博物館ホームページ「イベント」メニューからも申込みが簡単にできます。

◎ 申し込み方法

往復はがきか電子メールに、下記の内容を書いて博物館普及係あてに申し込んでください(※切日必着)。博物館のホームページからもお申し込みいただけます。

1. 参加希望の行事名
2. 参加者全員の住所・名前・年齢・電話番号
3. 返信連絡先(往復はがきには返信用のあて名)

※ 定員を超えた場合は抽選することがあります。抽選結果、集合場所、集合時間、持ち物など、詳しい内容は返信ハガキか電子メールでお知らせします。

◎ 申し込み先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館 普及係
ホームページ: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
e-mail: gyouji@mus-nh.city.osaka.jp

■長居植物園案内■

●長居植物園案内・動物編(11月)「ダンゴムシ・ワラジムシ」

植物園内の落ち葉の下や、博物館のまわりにかくれているダンゴムシやワラジムシをつかまえて観察します。

日時: 11月1日(土) 午前10時～12時

集合: 自然史博物館 玄関前ポーチ

参加費: 無料(植物園入園料必要)

持ち物: 容器(フィルムケース、小ビンなど)、筆記用具、持っている人はルーペ

お問合せ: 動物研究室の石田

お申込: 不要

※12月の長居植物園案内・動物編は、6日(土)に「冬越しの虫さがし」をテーマに実施します。

●長居植物園案内(11月)

植物研究室の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察を手引きします。

日時: 11月22日(土) 午後2時30分～4時

集合: 自然史博物館 玄関前ポーチ

参加費: 無料(植物園入園料必要)

お問合せ: 植物研究室の長谷川

お申込: 不要

※12月の長居植物園案内は、27日(土)にスペシャル企画として実施します。「木の実と鳥」をテーマに、秋から冬にかけて熟すいろいろな木の実と、それにくる鳥を中心に観察を行います。

■ジオラボ■

化石や岩石、鉱物、地層などについて簡単な実験や観察を行いながら学ぶことができます。

●「ボーリング資料を使って地質断面図を描く」

大阪平野のような平らな場所では、地下にどのような地層があるのか調べるために、地面に機械で穴を掘って、地下の地層をくりぬいて取り出して調べます。そのような調査をボーリング調査といいます。博物館にあるボーリング資料を使って、地下にどのような地層があるのか調べて、地質断面図を描きます。そして、大阪平野のおいたちについて考えてみます。

日時: 11月8日(土) 午後2時30分～3時30分

場所: 自然史博物館 ミュージアムサービスセンター

参加費: 無料(ただし、博物館入館料が必要)

お問合せ: 第四紀研究室の石井

お申込: 不要

●「絶滅動物の病気を調べよう」

恐竜などの絶滅動物も、私たちと同じように病気に苦しめられていました。展示や標本を観察して、骨の化石から絶滅動物がどのような病気にかかったのかを調べてみましょう。

日時: 12月13日(土) 午後2時30分～3時30分

場所: 自然史博物館 ミュージアムサービスセンター

参加費: 無料(ただし、博物館入館料が必要)

お問合せ: 地史研究室の林

お申込: 不要